

⑧ 全戸配布

R3 年度/防災活動 “自助”の取組「チェック表」

日の里9丁目自主防災会

1. 依頼事項

- (1)事前に、全戸配布資料“シニア世代の防災の手引き 福岡県”を参照して下さい。
- (2)下表「自助の取組目標」は、ご家庭で取組んで頂きたい、防災・減災のための提案例です。
- ①ご家庭で自由に“追加・修正・削除”を行い、“我が家の自助の目標”を決めましょう。
- ②年間を通じて、“家族ぐるみで我が家の自助の目標の実現”に取組んで下さい。
- なお、自主防災（住民自治）の性格上、個人、ご家庭、隣組の独自の取組を尊重します。
- コロナ禍の下、諸活動が困難な状況ですが、最低限の努力を自らの判断で行いましょう。

2. 防災・減災のための自助の取組目標

No.	自助の目標	メモ
1	県防災の手引き、市防災マップ、東京防災、市広報むなかたタウンプレス(6/1 配布)など、可及的速やかに一読する。	
2	自助、共助の活動の目的・内容・必要性など理解する。	
3	5月改正の“避難情報”、避難行動を理解する。	
4	自宅周辺の災害危険個所を確認する。	
5	避難のタイミング・避難経路・避難先を確認する。	
6	災害時、自宅が安全な場合、在宅避難を目指す。	
7	非常持出品と家庭内備蓄品を準備する。	
8	コロナ対策として、避難時、マスク・消毒液など準備する。	
9	テレビ、スマートフォン等を用いた、防災情報の収集の方法・入手先を確認する。	
10	土砂災害、風水害、台風から身を守るための“ポイント”を理解する。	
11	震災から身を守るためのポイント、“西山断層”など理解する。（地震については、東京防災もご参照下さい）	
12	災害による、数日間の停電に備える。	
13	災害による、数日間の上下水道の停止に備える。	
14	家族間の連絡方法（安否確認）を事前に決めておく。	
15	通勤・通学、買物など域外生活圏の防災マップも確認する	

3. 参考

- (1)当防災会の活動は、宗像市の防災計画、防災マップとの整合を概ね、確保しています。
- (2)自助目標（提案）は、当防災会のR1年度基本計画、R3年度活動計画などに準拠しています。
- (3)直近の防災機関、専門家などの警鐘（例）
過去数十年に一度の大きな災害が、今後は、毎年起こり得る、“戦う相手が変わった”との認識で、
個々人の意識を変えないと、被害を最小にすることが出来なくなる．．．との警鐘
- (4)東京防災（冊子）は、希望するご家庭を調査し、配布する予定です。
- (5)隣組単位の共助（被災家屋住民の安否確認、要支援者への対応）は、別途検討予定。